

令和5年度 医療・福祉連携研修会活動報告

今年度の研修会を、下記の通り開催いたしました。

日時：令和5年10月8日（土） 10：30～16：00

場所：広島健康福祉センター 2階総合研修室

講演1

演題 『 多職種協働でつなぐ在宅医療 』
～最期まで口から食べるには～

講師 医療法人ゆうの森 たんぽぽクリニック理事長 永井康徳先生

《講演内容》

住み慣れた地域で、最期まで尊厳ある人生を送りたいと誰もが願っています。私達、栄養士は「食の支援者」として、どのように寄り添っていけばよいかを改めて考えさせられる研修でした。亡くなるまで食べるためには、死に向き合い、医療を最小限にし、単独職種で関わるのではなく、多職種のチームで関わるのが大切で、食支援は、究極の多職種連携だということを心に深く刻んだ感慨深い研修会でした。



講演2

演題 『 事例から学ぶ栄養ケアマネジメントの実際 』

講師 (公社)広島県栄養士会 会長 木村要子先生

《講演内容》

地域共生社会の実現に向け、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていくことが求められています。本研修は、住み慣れた地域で、在宅・医療・福祉へと利用者の「食」を繋ぐため、職域を超えた栄養士同士、そして、他職種との連携の在り方を、具体的な事例を通して、栄養ケアマネジメントしました。また、来年度の報酬改定を見据え、今後の課題や提案なども検討し、実りある有意義な研修会でした。

